

県立長野図書館が運営するデジタルアーカイブ 「信州デジタルコモンズ」のコンテンツに 恒久的にアクセスできる仕組みを整備しました

県立長野図書館では「信州デジタルコモンズ」に登録されているコンテンツに JaLC 「DOI (デジタルオブジェクト識別子)」(*) を付与し、コンテンツへの恒久的なアクセスを保証する仕組みを整備しました。

公立図書館が自ら DOI を付与できる機関になるのは、全国で初めての事例です。

(※)JaLC (Japan Link Center) は、国際的な識別子である DOI 登録機関(RA)として DOI 財団から認定された、日本で唯一の機関です。
県立長野図書館は、公立図書館として初めて JaLC の正会員となり、「信州デジタルコモンズ」のコンテンツに DOI を直接付与しました。

1 「DOI (ディー・オー・アイ) : Digital Object Identifier」とは

デジタルコンテンツの永続的な識別子で、ISO の国際標準規格です (ISO26324:2012)。

学術論文等の電子コンテンツに恒久的なアクセス先 (パーマリンク) を提供する仕組みで、大学図書館や研究機関の論文データベース等で活用が進んでいます。

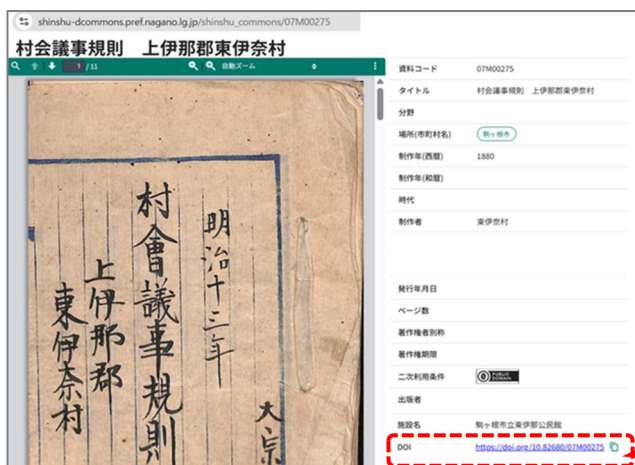
2 なぜ「DOI」を付与したのか

県立長野図書館が運営する「信州デジタルコモンズ」には、様々な機関の多様なコンテンツが登録されています。これらの発見可能性を高め、教育、学術、観光、ビジネスなど、多岐にわたる分野で活用されるには、システムの更新等でウェブサイトの URL が変わったとしても、リンク切れにならず、各コンテンツへのアクセスが保証されていることが重要です。そこで、コンテンツに「DOI」を付与し、長期的かつ安定的なアクセスを確保しました。

これにより、「知の循環」「知の再生産」の促進につながることが期待されます。

(令和8年7月現在：信州デジタルコモンズの登録コンテンツ 5,635 件すべてに DOI を付与)

▼「信州デジタルコモンズ」における DOI 表示例 ▼



DOI を付与するメリット

- ・コンテンツへのアクセスや引用が容易になります！
- ・恒久的にアクセスできることで、コンテンツの信頼性や品質向上に役立ちます！

『村会議事規則 上伊那郡東伊奈村』

<https://doi.org/10.82680/07M00275>



【活用例】

駒ヶ根市の東伊那区誌編集委員会が 2026 年に刊行した区誌『峯高く』は、信州デジタルコモンズに登録しているコンテンツの DOI を用いた二次元コードが印刷されており、紙からデジタルに簡単につながる“ハイブリッド風土記”として親しまれています。

引用・活用時は、ここに表示されている DOI を用いた URL をご利用ください！



(問合せ先)

担 当 教育委員会事務局生涯学習課
吉澤、永井
電 話 026-235-7439 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線 4423
E-mail shogai@pref.nagano.lg.jp

(内容に関する問合せ先)

担 当 県立長野図書館資料情報課
祖堅、小澤
電 話 026-228-4921 (直通)
026-228-4500 (代表) 内線 25
E-mail naganotoshokan@pref.nagano.lg.jp